

JAグループ宮城 災害対策ニュース (総合版)

第 8 号

【平成 23 年 3 月 30 日 (水) 発行】
発行：JAグループ宮城災害対策本部
編集：JA宮城中央会
〒980 - 0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022 - 264 - 8697 又は 264-8207
FAX 番号：022 - 216 - 4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

目次

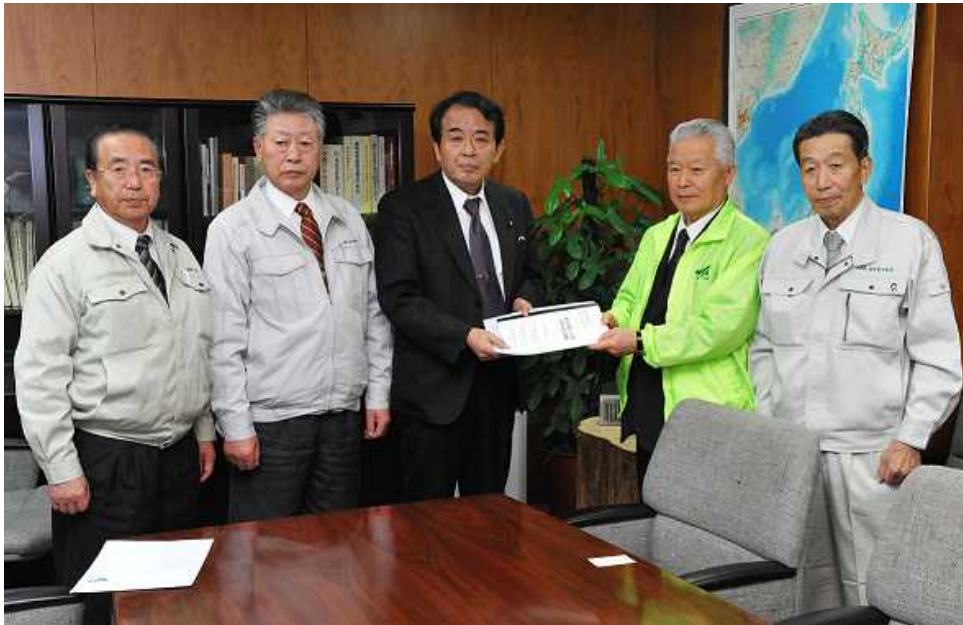
対策本部からの情報提供

- (1) 岩手、宮城、福島 3 県 JA 中央会、JA 全中による筒井農林水産副大臣等への要請
- (2) 全農永田会長、日本農業新聞松原社長がお見舞いと激励
- (3) JA 別被害状況の調査取りまとめ

対策本部からの情報提供

- (1) 岩手、宮城、福島 3 県 JA 中央会、JA 全中会長による筒井農水副大臣等への要請

3月28日(月)に、岩手、宮城・福島の3県中央会会長とJA全中会長が東京・霞が関の農水省を訪れ、被災地の生産基盤や組合員の暮らしなどの早期復旧に向けて万全な対策を取るよう筒井農水副大臣、民主党藤村幹事長代理、自民党谷垣総裁、公明党井上幹事長に緊急要請を行いました。



(写真) 左から福島中央会庄條会長、JA 全中茂木会長、筒井農水副大臣、宮城中央会木村会長、岩手中央会長澤会長

(2) 全農永田会長、日本農業新聞松原社長がお見舞いと激励

3月30日(水)12時に、全農永田会長が災害対策本部にお見舞いに訪れました。永田会長からは、今回の大震災に対するお見舞いと激励の言葉をいただきました。また、同席した山形県中央会今田会長からも、隣接県として、多様な側面で共に復興対策を進めてまいりたいとの激励がありました。これに対し、木村春雄災害対策本部長(中央会会長)からは、今回のお見舞等に感謝と復興への決意を述べるとともに、「東日本大震災による災害対策等に関する要請」として、永田会長に要請書が手渡されました。あわせて、宮城県中央会佐藤常務、並びに全農宮城県本部渋谷副本部長から県内の被害状況等について報告が行われました。

また、同日、14時には、日本農業新聞松原社長が災害対策本部にお見舞いに訪れ、県内の被害状況や現在の情勢について宮城県中央会佐藤常務から情報提供を行いました。



木村会長から永田会長に要請書が手交された



県内の被害状況等について情報交換が行われた

(3) JA別被害状況の調査取りまとめ

災害対策本部では、大災害発生後、各JAからの聞き取り等による被害状況を適時更新し、取りまとめしてきました。今回、3月29日付(文書)により、改めて直近のJA別の被害状況として、次の項目の調査をご依頼しましたので、ご協力よろしくお願いします。

なお、結果の報告は、取りまとめ次第、ニュースでご報告するとともに、4月の中央会理事会等で報告する予定です。

< 調査項目 >

人的被害(JA役職員)

建物、事務所等

各事業関係

農業関連施設(農地・施設・農畜産物)

その他

注)3月19日緊急JA組合長会議時点の被害状況を基に、その後に明らかとなった被害を把握するものです。従って、組合員の方々の人的及び経済的被害状況などについては、後日行うものとします。

以上